

乳幼児のむし歯

回答者

田中 奈美

諫早市永昌東町
諫早駅イーサ歯科院長



【問い合わせ】娘夫婦の仕事が忙しく、よく孫を預かります。孫にも歯が生えてきました。孫がこの先ずっと、むし歯で苦労しないように祖父母の私たちができることや孫を預かる時に注意することを教えてください。(諫早市、74歳女性)

【答え】生まれて間もなく、まだ歯が生えてない赤ちゃんのお口の中にはむし歯菌はないません。むし歯菌は、歯が生えてくる生後6か月前後を境にしてその後の環境により感染し、特に2歳半までが感染しやすい時期といわれています。むし歯菌に感染するのをできるだけ遅らせることが重要ですが、そのためには、お孫さんを預かる皆さん協力が不可欠なのです。

実は、むし歯菌は周囲の大人的唾液を介して感染します。家族が使用している箸やスプーンをそのまま使つて食事をあげたり、キスしたり、熱い食べ物をフーフーして冷ましたりする際に感染が起きます。従つて、お孫さんとはお箸や食器を別々にし、取り分けも、取り箸を使うのが理

想です。とはいって、これらをいつも気にするのはとても大変です。周りの大人が口を清潔に保ち、感染のリスクを下げておくことだけでも、感染予防に効果があります。

おくちの相談室

想です。とはいって、これらをいつも気にするのはとても大変です。周りの大人が口を清潔に保ち、感染のリスクを下げておくことだけでも、感染予防に効果があります。

また、むし歯はむし歯菌が糖分を使って酸を出し、歯の表面を溶かすことで進行するので、糖分の上手な摂取の方も大事なポイントです。お孫さんには、糖分を時間や量を決めて食べさせ、食べた後は歯磨きをして、必ず大人が仕上げ磨きをするようにしましょう。

それから、フッ化物を上手に使うことも大変効果的です。ご家庭でフッ化物配合の歯磨き粉やフッ化物のスプレー、ジェルを使うことで、丈夫で溶けにくい歯にすることができます。できれば、かかりつけの歯科医院で定期健診やフッ化物塗布なども行つてください。

これからも、家族みんなで日々寧に歯磨きをして、むし歯予防に取り組んでください!!

質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します(直接本人に回答はしません)。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「おくちの相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「802-0ながさき」で検索できます。参考にしてください。